

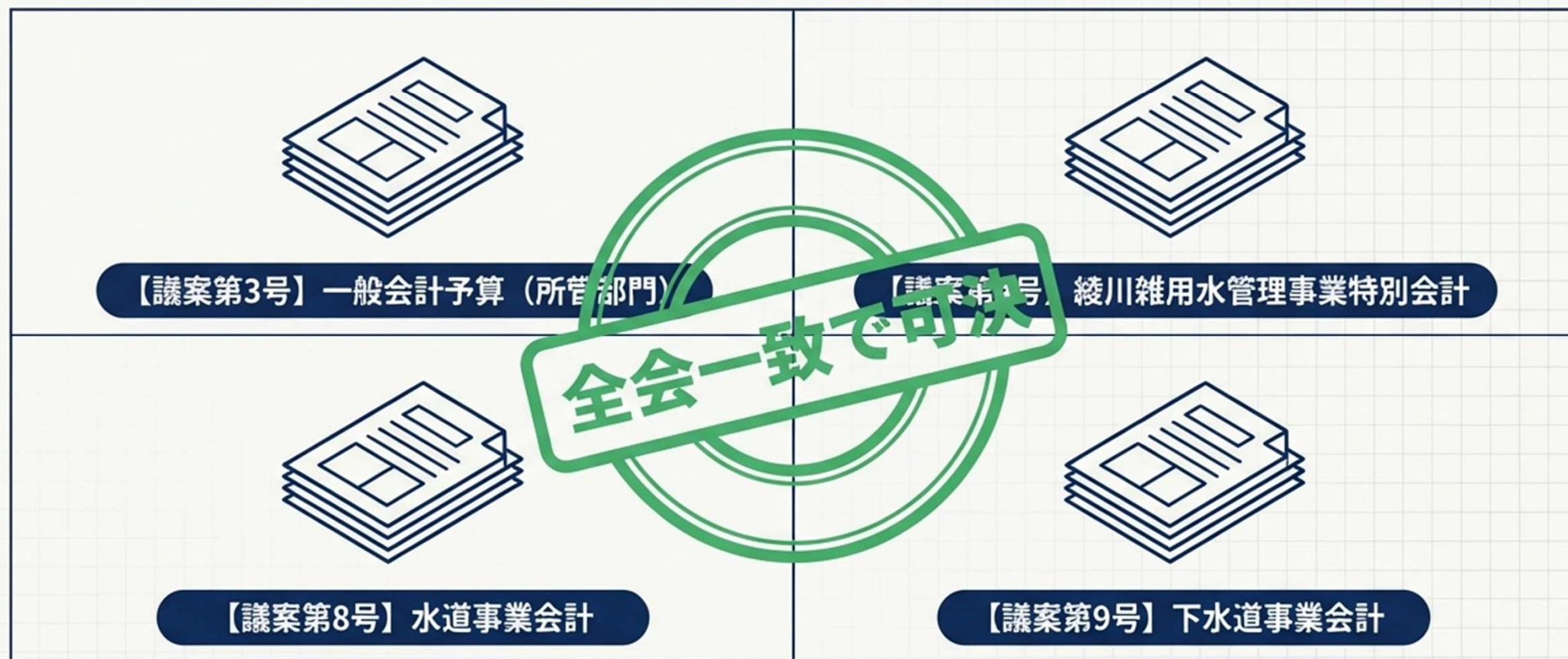
令和8年第1回定例会 文教産業常任委員会 委員長報告書

国富町の未来に向けた予算審査の概要と主要施策



委員長 日高 英敏
副委員長 井戸川 紀代子

審査対象議案と結果



執行部からの説明および現地調査を含めた慎重な審査の結果、4件すべて原案の通り可決。

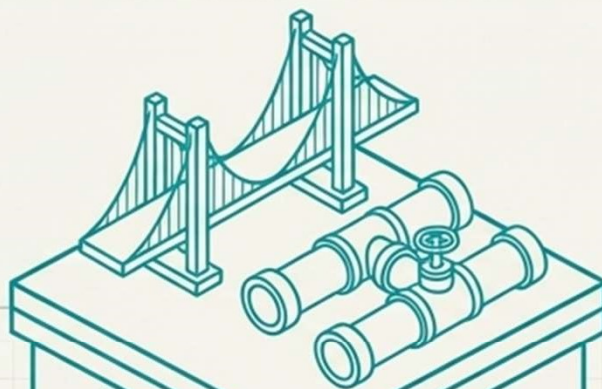
本報告書の3つの柱

各課の審査内容を、町民の皆様に分かりやすく3つのテーマに再編してご報告します。



次世代育成と 教育環境

教育総務課・社会教育課・
学校給食共同調理場



安全で持続可能な インフラ整備

都市建設課・上下水道課



地域産業と コミュニティの 活性化

農林振興課・農地整備課

戦略の柱 1： 次世代育成と 教育環境

次世代育成と教育環境

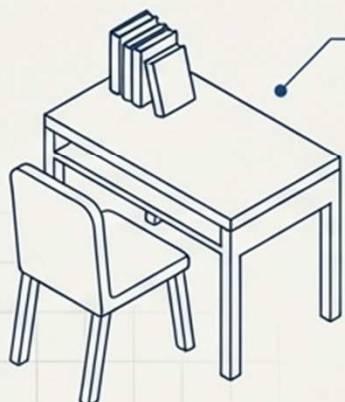
すべての子供たちに平等な学びと安心の場を



学習機会の創出と不登校児童生徒への支援



夏休み学習教室



対象:小学5・6年生、中学1年生(意欲はあるが、機会に恵まれない児童生徒)

仕組み:大学生指導員による無料の補習指導(改善センターにて)

委員会からの要望:公平性の観点から、八代校区や木脇校区からも通いやすい開催場所の工夫を要望



不登校児童生徒支援

予算:156.9万円

施策1:校内教育支援センター設置(126.9万円)

- ・本庄小学校内に設置
- ・教員経験者を支援員として配置

施策2:レク教室・講演会(30万円)

- ・保護者向けの講演会の実施
- ・週1回の運動・レク教室の開催

効果:養護教諭等の負担軽減と子供たちの安心できる居場所の確保

小学校給食費無償化の仕組み

給食センター

総予算:5,623万円

内訳:保護者負担軽減補助金
(4793.3万円)+給食費無償
化分(829.7万円)

実際の給食費 月額6,100円/人



国の制度に加え、町独自の補助(1人あたり月額900円×11か月分)を上乗せすることで、完全無償化を実現

ノロウイルス等発生時の 危機管理フロー

予算適正化の背景

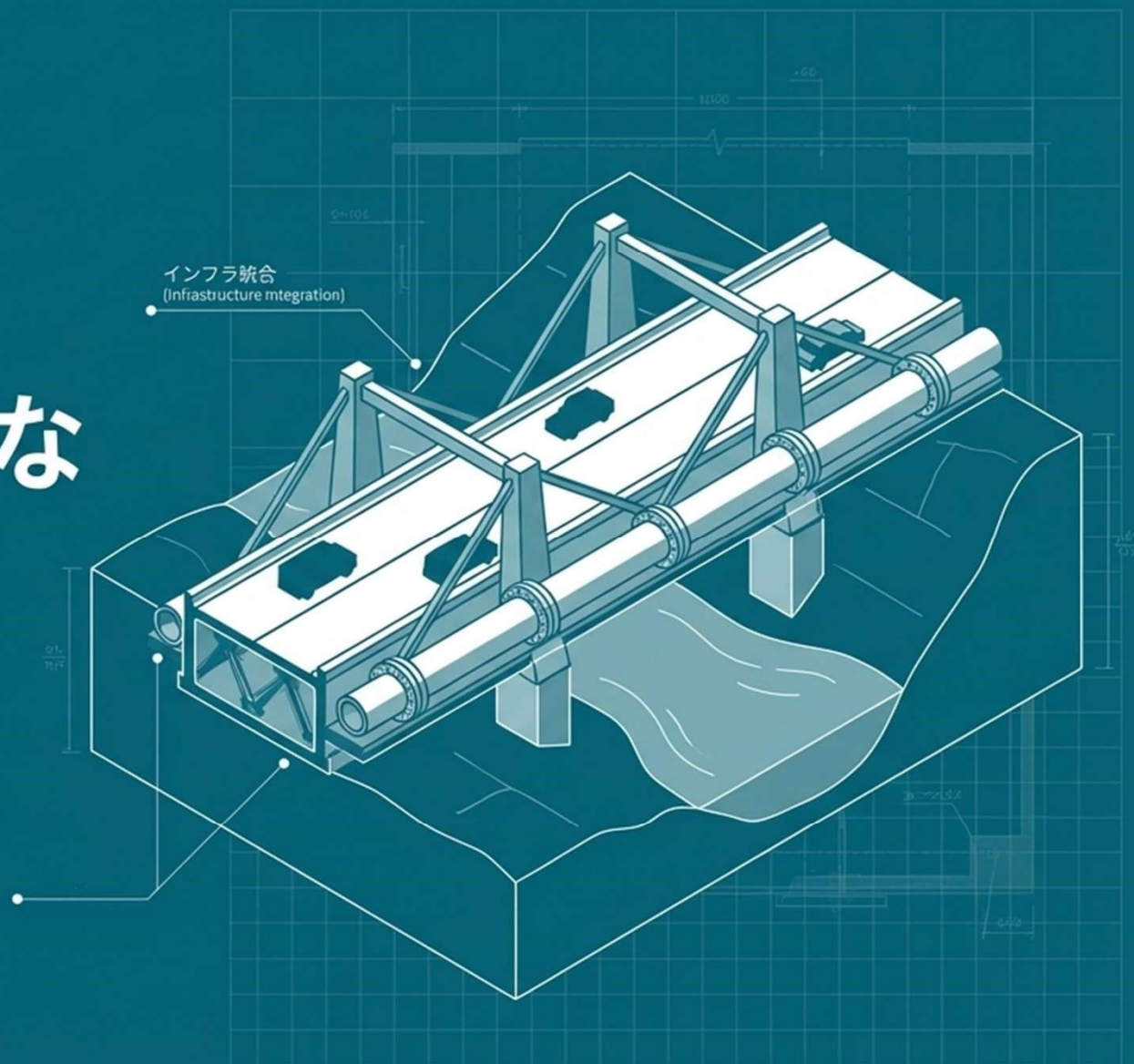
検査は年1回とし、食中毒発生時は
保健所が対応するため予備費を削減。



緊急時でも給食提供を極力止めない多段的なバックアップ体制を構築。

戦略の柱 2： 安全で持続可能な インフラ整備

災害に強く、次世代に
ツケを残さない基盤づくり



岩下向橋の架け替えと水道管布設替えプロジェクト

予算: 県河川改修事業負担金 4,600万円

令和8年度(R8)	令和9年度(R9)	令和10年度(R10)
解体工事・下部工工事・水道管の一時撤去	上部工工事	取付け道路工事・水道管の再添架

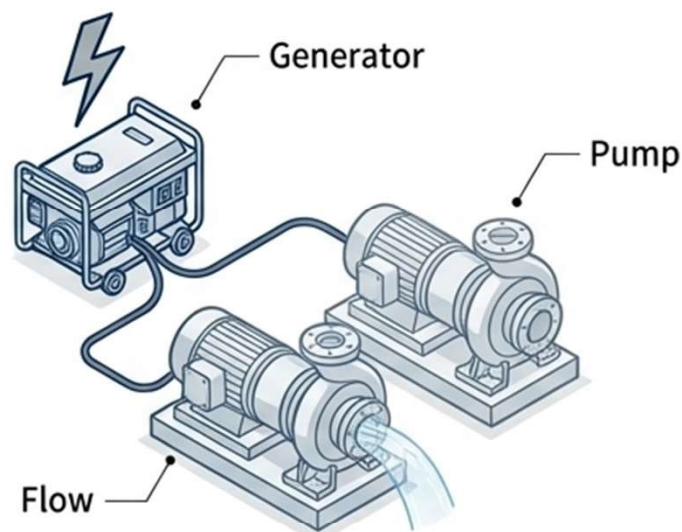
重要: 水道供給の安定確保

R8の水道管撤去期間中もR5に実施した水圧確認と布設替工事の事前対策により、周辺地域への安定給水は完全に維持されます。

太田原排水機場の防災機能強化

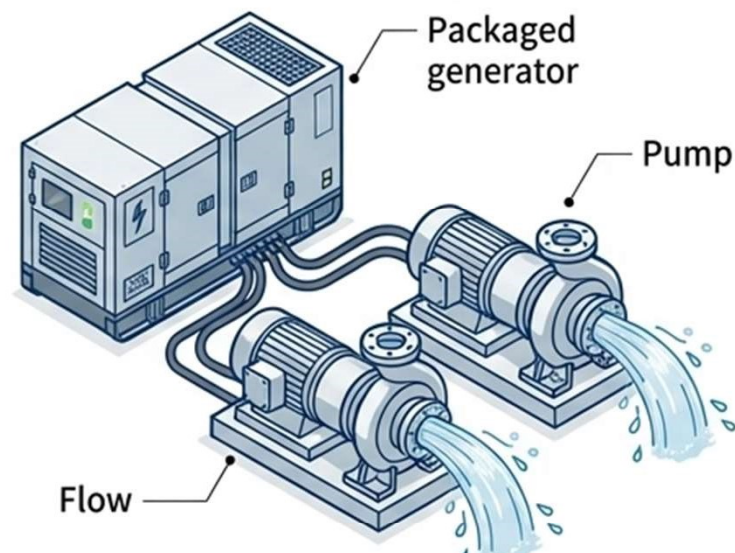
高額機器となるため、適正な発注用設計単価を算出するべく専門機関へ調査委託を実施

現状の課題(Before)



停電時、非常用発電機1台につきポンプ1台(排水能力50%)しか動かせないリスクがあった。

機能強化後(After)



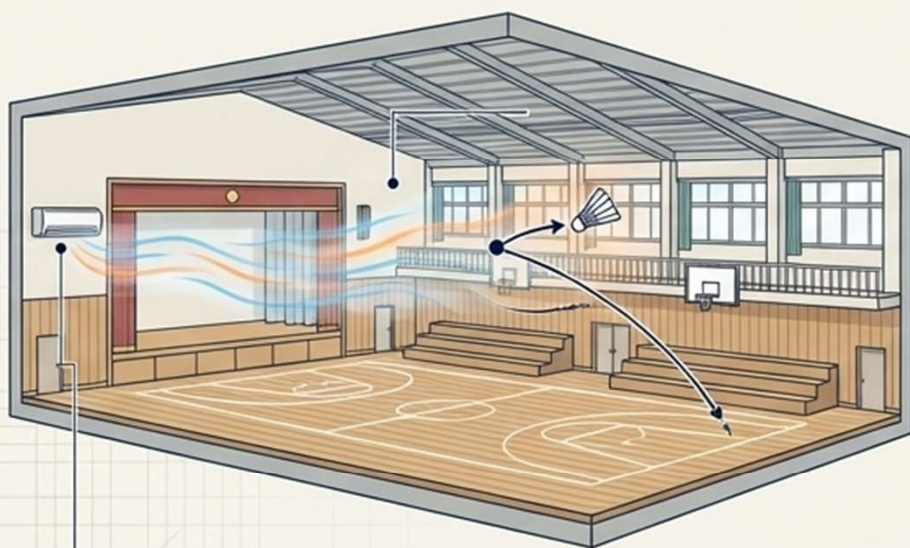
停電時でも2台のポンプを同時稼働(排水能力100%)できるパッケージ式非常用発電機を設置する。

中央コミュニティセンター空調設備設置

予算:2億円

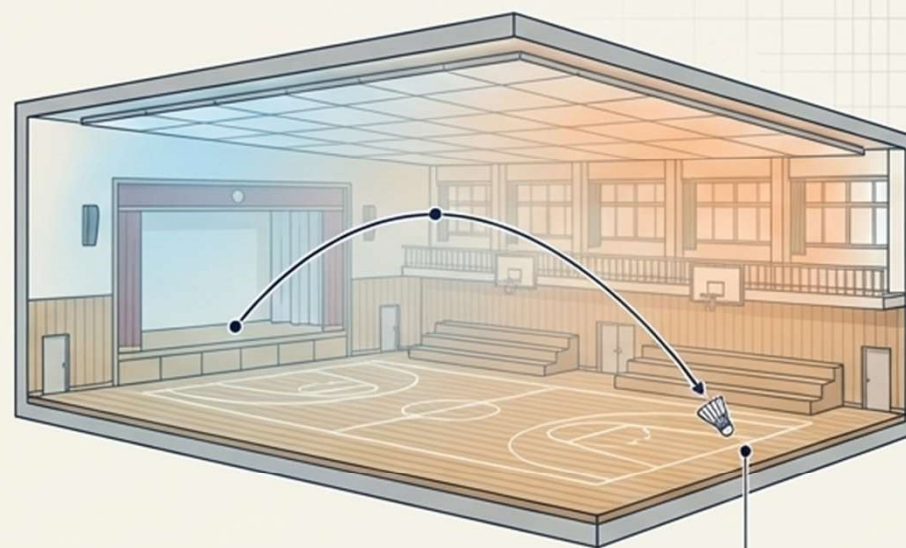
競技に影響を与えない次世代空調の導入

従来のエアコン(温風・冷風)



風が直接吹き出し、バドミントンのシャフトやバレーボールの軌道に悪影響

輻射パネル空調(今回導入予定)



風を起こさずに空間全体を空調。気流が発生しないため、屋内スポーツの競技環境を保つ

上下水道事業の経営状況と財務課題

水道事業



トレンド

収益減少（対前年比 1.1%減）

主な要因

給水人口の減少に伴う給水収益および他会計負担金の減少。R7の平均値とR6決算から精緻に算出。

下水道事業



トレンド

企業債償還額の高止まりと金利上昇

主な要因

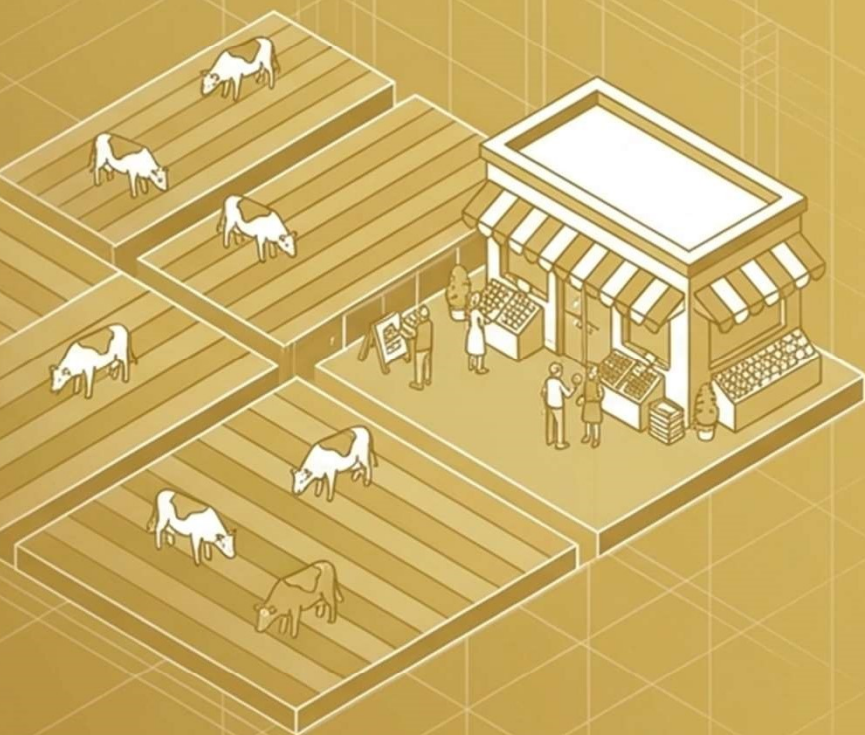
H26の管渠工事完了に加え、し尿等前処理施設の建設事業が追加されたため。

財務戦略

金利上昇局面において、県の融資枠制限を考慮しつつ、地方公共団体金融機構、財政融資資金、民間資金から低金利な借入先を戦略的に優先。

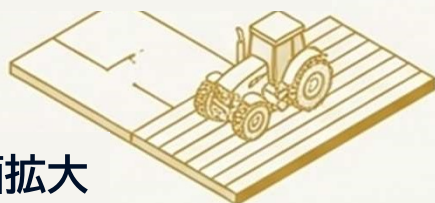
戦略の柱 3： 地域産業と コミュニティの活性化

町の資源を活かし、
稼ぐ力と集う場所を創る



農業振興・農地整備の戦略的投資

農地区画拡大



農地区画拡大

畦畔除去: 4.5万円/100m
 整地: 3.75万円/10a

目標:
 規模拡大による作業効率化
 対象:
 地域の中心となる経営体が自ら実施する整備を助成する。

優良牛保留奨励



優良牛保留奨励

予算: 340万円

目標:
 遺伝的改良と高品質化
 対象:
 JA品評会の成績に応じ、優秀な素牛のセリ導入・自家保留を助成する。

肥育技術研究



予算: 25.7万円

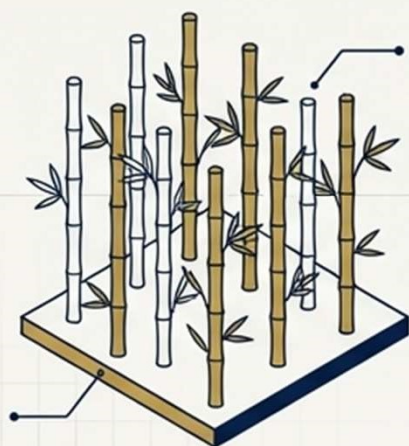
目標:
 肉質向上と消費拡大
 対象:
 生体スキャン実施、Aコープや町民祭での試食宣伝販売を展開する。

戦略: 地域農業未来創成協議会と連携

担い手減少や耕作放棄地問題に対し、農地の集積・集約化や作業受託耐性の整備を推進

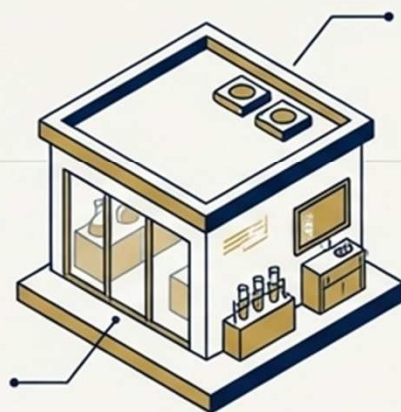
6次産業化プロジェクト:国富メンマ「メンマニア」

みやざきLFP強化支援事業補助金を活用し、商工会製造業部会と共同で「オール国富」での商品化を目指す。



段階1:資源活用

町内の竹林資源
を活用



段階2:研究開発

試作品開発・
モニター調査の実施



段階3:ブランディング

統一ブランド名
「メンマニア」決定



段階4:市場投入

令和8年度 秋頃
商品化予定

コミュニティ空間の創出と文化財保護

かわまち広場 (塚原運動広場)

- ・状況: 令和7年度整備完了、令和8年4月供用開始
- ・利活用: グラウンドゴルフ協会(多目的広場)、商工会青年部(桜堤周辺)
- ・運営: 「本庄川かわまちづくり推進部会」は解散せず、継続して事後評価や花壇植栽等を担う。



靱木池遺跡 (靱木池工事予定地)

- ・背景: 洪水吐工事予定地でのR5試掘調査により縄文土器片・集落跡を確認
- ・対応: 工事着手前に約1,400㎡の範囲を民間業者に委託し、約5か月間かけて本発掘調査を実施する。

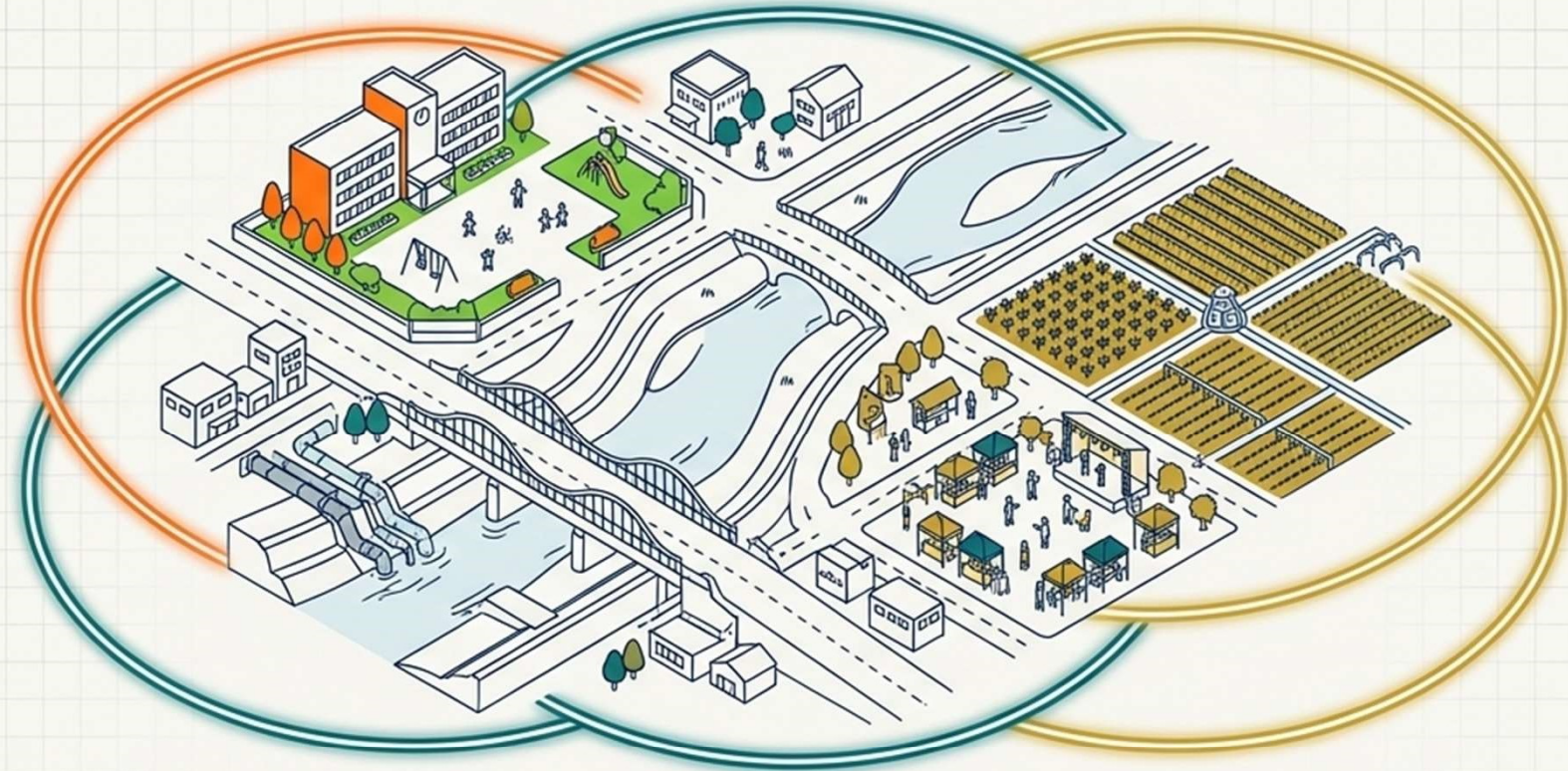


国スポ国富町実行委員会と町民参加

負担金: 5,300万円



令和8年度予算が描く国富町の姿



【次世代への投資】 + **【強靱な基盤づくり】** + **【経済の活性化】** = **持続可能で活力ある国富町**
(教育・子育て) (インフラ・防災) (農業・新産業)

個別の予算案は独立しているだけでなく、人口減少やインフラ老朽化という町の複合的な課題に対し、相互に連携して解決を図る「未来への設計図」となっています。

委員長からのメッセージ

「依然として厳しい財政状況にあることに変わりありませんが、町民福祉向上のため、『最小の経費で最大の効果』が挙がるよう、執行部・職員の皆さんの尚一層のご努力をお願い申し上げます。」

令和8年第1回定例会 文教産業常任委員会

委員長 日高 英敏

副委員長 井戸川 紀代子

および委員一同（石山和真, 山内千秋, 武田幹夫, 河野憲次, 穂寄満弘）